

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

推進校実施報告書

- 1 学校名：尾道市立因北中学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年10月16日（火）13：00－15：30
- 3 対象：全校生徒（約170名）および保護者（約10名）
- 4 実践形態：オリンピックによる講演および実技指導
- 5 派遣オリンピック：田中 琴乃さん
(新体操 北京オリンピック団体総合10位、ロンドンオリンピック団体総合7位)
- 6 授業内容：講演、実技

2018（平成30）年10月16日（火）に、尾道市立因北中学校にて、新体操団体で北京オリンピックならびにロンドンオリンピックに出場した田中琴乃さんをお招きしたオリパラ教育の実践が行われました。当日は、田中さんによる講演会と、全体ならびに代表生徒への実技指導に加え、田中さんの演技披露がありました。会の最後には質疑応答の時間も設けられ、充実した実践となりました。

「夢の実現」というテーマでの講演会では、冒頭に、田中さんが「フェアリージャパン」として演技した際の映像が紹介されました。その後、夢の実現までプロセスとして、小学校3年生時に校長先生にかけられた言葉をきっかけにオリンピックを目指すようになったというエピソードや、中学校3年生で親元を離れ上京したこと、怪我や拒食症に悩む時期を乗り越え、高校1年生時の北京オリンピックで夢を実現したこと、また、北京オリンピックでの後悔と、キャプテンとして出場したロンドンオリンピックまでの練習等についてお話がありました。

講演の中で、田中さんは、苦しいときや辛いときに諦めずに続けてきて良かったと、競技人生を振り返っていました。そして、そのように思えたのは、常に「昨日の自分に負けない」と心に決めて行動を続けてきたことや、「『人のため』は大きな力」と周囲の人への感謝の気持ちを持って競技にはげむことができたからだ、と、生徒たちにメッセージを伝えていました。

講演会の後に行われた全体への実技指導では、ストレッチやバランス技が紹介され、生徒たちや保護者の方々は「痛いー！」などと声をあげながらも積極的に参加していました。次に、7名の代表生徒が、新体操の手具であるボール、フラフープ、リボンを用いた技を体験しました。全校生徒が見守る中、代表生徒たちは熱心に実技指導を受けていました。田中さんがご披露された演技には、生徒だけでなく、保護者の方々や先生方も引き込まれ、演技後は会場全体が大きな拍手に包まれました。

最後に設けられた質疑応答の時間には、「演技の際に人からの視線が怖くなったことはあるか」や、「思うような成果が出ないときはどうしたらいいか」、「緊張してしまうことはあったか」、「大好きな物事でも嫌いになってしまったときにはどうしたらいいか」、「団体種目での息はどうやったらぴったりと合うのか」等の質問が、生徒から挙げられました。生徒たちは、田中さんの経験に裏打ちされた答えに大きく頷きながら、話を聞いていました。閉会式では、今回の実践がかけがえのない時間になったと代表生徒からの言葉があり、その後、全体で記念

撮影をして散会となりました。

「昨日の自分に負けない」と、夢に向かって努力を重ねた田中さんが最後におっしゃった「苦しいことがあって良かった、何か壁にぶつかったときは周り支えあって乗り越えてほしい」というメッセージを、生徒がしっかりと受け止めていた姿が印象的でした。

7 講演・実技指導の様子



【講演会の様子】



【全体への実技指導の様子①】



【全体への実技指導の様子②】



【代表生徒への実技指導の様子】



【田中さんによる演技披露】



【質疑応答の様子】



【生徒によるお礼の言葉】



【全体での記念撮影】